

## 令和 7 年度「静岡県働きやすい職場づくり推進公労使協議会」議事概要

### 1. 挨拶

### 2. 行政説明

- (1) 経済産業省 関東経済産業局
- (2) 公正取引委員会 事務総局 中部事務所
- (3) 静岡労働局
- (4) 静岡県

### 3. 意見交換

- ・「賃金引上げ」に向けた取組について
- ・働きやすい職場づくりのための取組について
- ・共同宣言について

#### 【発言概要】

・県内データによると、パートナーシップ構築宣言を 51%の中小企業は知らないとしているという驚きの状況があり、未だ制度周知の課題が浮き彫りになっている。

県内でも見られた金型保管料等賃上げ阻害の悪き因習も、まだまだ残っているということ、メスをしっかり入れていただきたい。さらに、2次3次と川下に行くにつれて転嫁が厳しくなっており、実態把握をして是正策を具体化していただきたい。

その上で企業自らの自助努力も必要であり、補助金・税制支援のみに頼ることなく、将来にわたって強く生き抜いていくためのノウハウつまり DX、AI などに対応していく等、設備投資など企業の稼ぐ力を拡大する必要がある、コンサルティング支援や、従業員のスキアップ等の人材支援策、人材マッチング支援の強化も併せてお願いしたい。

・中小企業が継続的な賃上げを行っていくためには、8割近くまでになっている労働分配率を引き下げていく必要がある。サプライチェーン全体で適正価格化を推進し、どの企業も一定程度利益が出る仕組みが肝要であるとの認識で官民が一致しているところ。

BtoC のところでも、消費者の懐を温め、今の生活に余裕が持てることに加え、将来への不安を払拭していくことが大事であり、行政には、足元の施策だけでなく、明るい未来を示していただき、未来のために、消費より貯蓄というスパイラルが、少しでも消費に向けた良いスパイラルになるように期待したい。

・中小企業は身を削った防衛的賃上げを行っている。製造業では仕入原価や製造原価の上昇によって、価格転嫁が自主的に非常に難しい状況が続いている。小売業では、最低賃金引き

上げによる資金確保の課題が顕在化している。

小規模事業主に対して、価格交渉や適正な価格転嫁を行うための支援や、粗利確保や固定費の見直しなど、原材料、光熱費、人件費高騰への対応への支援を行っているが、賃金アップの要請に応えられるか、非常に苦しいところ。

・昨年までは大手の賃上げのニュースが新聞に出て、多くの企業で、自社はどうか対応するか敏感に反応したように感じたが、ここへ来て、米国の関税の問題や中国経済の減速、車世界のEV化の変化などによって経済のパイが小さくなってきており、競争激化により、価格転嫁が難しくなる状況が生まれつつある。

賃上げできるかできないかが企業の存続に関わる要素となっているが、ここで生き残りの競争が中小企業で始まってしまったという思いであるが、踏ん張っていかなければならないと考えている。

・賃上げが毎年続くという前提を労使が共有できるかが今年の春闘の争点ではないか。賃上げが例外でなく前提として、労働組合と経営側が、事業環境を踏まえた上で、今後3、4年程度を視野に賃上げを目指す意識を共有できれば、経営側も中長期の投資や事業構造の転換が判断しやすくなるのではないか。賃上げを起点に投資と成長を回し、その成果を再び賃金に還元することで、賃上げは労使交渉の成果に止まらず、消費の安定や地域経済の持続性につながるものとする。

・生産性向上につながる設備投資の実施を通じて、売上や収益の拡大並びに雇用の確保を図り、最終的に賃上げにつなげていくことが重要である。設備投資に活用できる補助金を活用した投資計画が進んでおり、申請手続きの支援や各種情報提供を行っている。

パートナーシップ構築宣言の普及と実効性を高める共同宣言団体として、行政とも連携して事業者の価格転嫁の支援に取り組む。

・働きやすい職場づくりの取組について、実務にどう落とし込むかについては、一体として設計すると効果が高まる。例えば、リスクリングと多様な働き方の組み合わせでは、在宅や短時間勤務でも学びやすいオンライン研修を整備し、育児介護中の社員や地方在住者のスキルアップを後押しする。両立支援とハラスメント防止の一体設計では、育児介護、多様な働き方を選択した社員への不利益取扱いや嫌がらせを防ぐため、ハラスメント防止方針に明記して管理職研修に組み込む。ハラスメント防止と人材確保の定着の一体設計は、カスタマーハラスメントを含め安全で尊重される職場であることを示すことが、採用力向上と離職防止につながり、人手不足対策としても重要な要素となる。最も重要なのはやはり意識改革であり、自分の中で大胆に、天動説から地動説に転換するような、そういう意識改革が必要。